

平成29年度第3回東北高等学校合同チームラグビーフットボール大会

実施要項

- 1 目的 少子化等の関係で競技人口の減少に伴い試合の機会が少なくなっているにもかかわらず練習に励んでいる生徒の活躍の場とする。また、この活動を通してラグビーのプレーに必要な基礎体力・技術に関する思考の場とし普及・向上に努める。また、コベルコカップ2018 U18東北選抜の一次選考会になっている。
- 2 主催 関東ラグビーフットボール協会
- 3 主管 東北高等学校体育連盟ラグビー専門部
宮城県ラグビーフットボール協会・宮城県高等学校体育連盟ラグビー専門部
福島県ラグビーフットボール協会・福島県高等学校体育連盟ラグビー専門部
- 4 後援 東北高等学校体育連盟
- 5 期日 平成30年3月16日（金）・17日（土）
- 6 日程
 - 第1日目
 - 12:30 集合・代表者会議（グラウンド中央本部テント）
 - みやぎ生協めぐみ野サッカー場（宮城県サッカー場C人工芝）
 - 13:00 競技開始（15分ハーフ 6試合）
 - 17:00 競技終了
 - 第2日目
 - みやぎ生協めぐみ野サッカー場（宮城県サッカー場C人工芝）
 - 10:00 競技開始（15分ハーフ 5試合）
 - 13:20 競技終了
 - 13:30 表彰式・閉会式
- 7 会場 みやぎ生協めぐみ野サッカー場C（宮城県サッカー場人工芝）
宮城県利府町森郷字内ノ目南119-1 TEL・FAX: 022-356-6581
- 8 競技規則
 - (1)（公財）日本ラグビーフットボール協会競技規則2017による。
 - (2) 試合時間中に勝敗が決まらない場合は引き分けとし、次回戦への出場チームは以下の方法で決定する。
 - ①トライ数の多いチーム
 - ②トライ数も同数の場合は、トライ後のゴールキックの成功数の多いチーム
 - ③上記でも決定できない場合は、抽選で決める
- 9 競技方法 第1日目は各チーム2試合（15分ハーフ）を行う。第2日目は、第1日目の結果をもとに、決勝トーナメント（15分ハーフ）を行う。
- 10 組合せ 高体連ラグビー専門部委員長会議により行う。
- 11 参加資格
 - (1) 各都県の高等学校体育連盟並びにラグビーフットボール協会に加盟しているすべての学校教育法に定める高等学校。
 - (2) 参加選手は、学校教育法に定める高等学校に所属し、各県高等学校体育連盟並びにラグビーフットボール協会に加盟していること。
 - (3) 参加選手の資格は、学校長が学業・身体・人物など適当と認めたもので、次の項目に該当するものであること。
 - ア（財）日本ラグビーフットボール協会に個人登録していること。
 - イ 平成11年4月2日以降に生まれたものであること。
 - ウ 特例として上記(3)イに定める年齢制限について中国等帰国生徒については撤廃する。
 - (4) 平成29年11月1日以降に転編入してきた者は参加を認めない。外国人留学生もこれに準ずる。ただし、一家転住などやむを得ない場合は、各都県ラグビーフットボール協会会長の許可があれば、この限りではない。
 - (5) 外国人留学生の参加は、1チーム2名までとする。
 - (6)（公財）日本ラグビーフットボール協会「選手・役員規定」に違反する者は参加できない。
 - (7) 参加する選手は、予め健康診断を受け、各県専門部長の承認を必要とする。
- 12 参加人員
 - (1) チーム編成は、監督1名・コーチ2名・選手30名以内の計33名以内とする。
 - (2) 各県1チームとする。
- 13 参加手続
 - (1) 各都県高体連専門部は、協会・高体連専門部事務局などと協議の上、参加チームを選出する。参加チームは所定の書類を作成し、各県高体連専門部に提出する。各都県高体連専門部は、1部写しを控えとし、書類を下記19の大会事務局宛にデータメール及び郵送する。
 - (2) 手続書類
 - 参加申込書
 - 締め切り 平成30年2月16日（金）
 - 参加選手を変更する場合は、変更申請書を3月16日（金）大会当日代表者会議受付時に大会事務局へ提出すること。
 - 宿泊・弁当の手続きについては別紙宿泊申込要項に従い、宿泊・弁当申込書を2月16日（金）までに業者宛てに送付する。
- 14 参加上の注意
 - (1) 参加選手は必ず該当チームの引率責任者（教諭）に引率される。引率責任者は選手のすべての行動に対し、責任を負う。
 - (2) 試合中はヘッドギアとマウスガードを着用しなければならない。

- (3) セカンド・ジャージを用意する。
- (4) ジャージの背番号は、リザーブを含めて1～25とする。
- (5) 競技中の疾病・外傷などの応急処置については各チームのセーフティアシスタントが行う。
- (6) 試合中に発生した負傷などの医療費は当該チームの負担とする。
- (7) 選手は事前に十分練習し、体調を整えて参加すること。
- (8) 引率責任者（教諭）は、選手の健康管理には十分注意し、特に心肺機能については精密な検査を行っておくこと。また、正確な血液型を調べておくなど、緊急の事態に対処できるように配慮しておくこと。
- (9) 大会期間中の参加選手の傷害保険については必ず各チームで加入すること。
- (10) 携帯品・・・試合用具・練習用具一式・筆記用具・健康保険証（またはその写し）・日用品（着替え、洗面用具など）
- (11) 3月16日（金）の昼食は、各自準備しておくこと。（業者可能）

- 15 宿 泊 (1) 参加者の宿泊は大会事務局の指定宿泊施設とし、その割り当ては、大会事務局が行う。
 (2) 宿泊費は一人当たり1泊3食指導者7,900円生徒7,900円（消費税込み）とする。
 （1泊2食指導者7,200円生徒7,200円消費税込み）
 (3) 宿泊等に関する変更は、該当チームの引率責任者（教諭）が大会事務局と連絡をとり、相互で確認する。

- 16 経 費 大会参加費は不要。関東ラグビーフットボール協会・東北高等学校体育連盟ラグビー専門部が負担する。

- 17 そ の 他 この大会がコベルコカップ2018、U18東北選抜チームの一次選考会となり、優勝した県が、コベルコカップU18東北選抜チームの母体になる。その後、セクション合宿等を経てU18東北選抜チームを編成する。また、少人数のチームだけで編成できない県は、一番最下位の15人制チームを母体として出場しても良い。（但し、優勝したとしてもU18東北選抜の母体チームにはならない。）セクターは、東北各県委員長および各県代表チーム監督となる。

18 健康管理及び安全対策

◆大会参加に当たってはあらかじめ健康診断を受けさせる等、選手の健康管理に十分に注意すること。また、大会期間中において、感染症（季節性インフルエンザ、ノロウイルス、O-157、マイコプラズマ等）が発生した場合は以下の手順で対応する。

- 1. チーム代表者から大会本部（競技委員長携帯電話）へ連絡する。
- 2. 大会本部からチーム代表者へ確認の連絡をする。
- 3. 大会本部で会議を行う。（競技委員長・総務委員長・医務委員長）

・感染した選手のみ出場を辞退していただき、当該選手を直ちにチームから隔離する。

・登録人数のうち、20%が感染症と診断された場合には棄権（出場辞退）扱い、また、登録人数以外でもチーム内に感染症がいる場合にはその人数もカウントし、20%感染で棄権（出場辞退）扱いとします。

- 4. 会議の結論を競技委員長よりチーム代表者に連絡する。

◆雷に関する対応は、次のとおり内規を設定する。

【内規】原則として、試合中に雷光・雷鳴の現象のあった場合、大会実行委員長・競技責任者・レフリーで協議の上、一時的に試合を中断する。速やかに建物内に避難する。

1. 予選リーグの対応

- ①中断後60分経過までに再開可能な場合は、残りの時間で試合を再開する。
 - ②30分経過後も再開不可能な場合は、翌日に再試合を行う。
- ただし前半を終了していた場合はゲームを成立とする。

2. 決勝トーナメントの対応

- ①中断後60分経過までに再開可能な場合は、残りの時間で試合を再開する。
- ②30分経過後も再開不可能な場合は、大会を終了し、表彰は行わない。